

2023年度

科目名称	看護倫理
授業コード	BK451
英語名称	Nursing Ethics
学期	2023年度前期
単位	1.0
担当教員	寺門 亜子 (医療科学部), 川副 樹 (医療科学部), 田口 涼子 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	多様な価値観を有する人々への理解を基盤にした倫理的看護実践を通して、倫理原則の特徴とその遵守の重要性を理解する。また、倫理的問題に直面したときに必要な行動を判断できるための考え方を学ぶ。随時ディスカッションも行いながら自己の価値観をみつめるとともに、看護専門職者が遭遇する倫理的問題・ジレンマについて自己の考えを深める機会とする
科目に関連する実務経験と授業への活用	授業は、看護師としての臨床経験があり、かつ看護倫理の研究を実践している専任教員とともに、看護師としての臨床経験のある非常勤講師が担当する。看護倫理の基礎的な知識、生命の尊厳に対する幅広い視点と医療現場の課題と展望について講義する
到達目標	<p>本科目は、カリキュラム・ポリシーに掲げる「対象の様々な権利や人権を尊重し、看護専門職としての倫理的姿勢を涵養する科目」であり、ディプロマ・ポリシーに掲げる「対象者の様々な権利や人権を尊重し、看護専門職として倫理的な行動がとれる」ことができるよう、以下の5つを到達目標とする</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.看護実践における倫理原則について理解を深めることができる 2.看護専門職者が専門職として有する倫理的責任・法的責任について理解を深めることができる 3.アドボケートとしての看護専門職者の役割について理解を深めることができる 4.看護専門職者としての倫理的行動をとることの重要性について理解を深めることができる 5.看護実践において看護専門職者が遭遇する倫理的問題・ジレンマについて理解を深めることができる
計画・内容	<p>第1回 4月11日(火)3限 内容：オリエンテーション(本講義のねらい、進め方、評価等について)、倫理原則の理解 担当教員：寺門・看護師</p> <p>第2回 4月11日(火)4限 内容：看護倫理の理解 担当教員：寺門・看護師</p> <p>第3回 4月18日(火)3限 内容：看護倫理と研究倫理 担当教員：寺門・看護師</p> <p>第4回 4月18日(火)4限 内容：看護実践における倫理的問題 担当教員：川副・看護師</p> <p>第5回 4月25日(火)3限 内容：看護職の倫理的責任と法的責任 担当教員：寺門・看護師</p> <p>第6回 4月25日(火)4限 内容：臓器移植医療と倫理的問題 担当教員：田口・看護師</p>

2023年度

計画・内容	<p>第7回 5月9日(火)3限 内容：看護実践における倫理的問題 担当教員：寺門・看護師</p> <p>第8回 5月9日(火)4限 内容：看護実践における倫理的問題、まとめ 担当教員：寺門・看護師</p>
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学生の立場を大切にしながら看護倫理とは何かを考える ・臨地実習やこれまでの看護学生としての学びを振り返りながら、倫理的看護実践について、自己の考えを表現することを大切に進める ・ディスカッションを通し、他者の意見を「聴き」、「理解しようとする姿勢」や「尊重する」という倫理的行動を意識できるように進める
能動的な学びの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で得た知識やこれまでの体験を生かしながら、自身の考えをout putできるように臨む ・授業内でのディスカッション時には、クラスメートの意見をしっかりと聴き、クラスメートとともに考え続ける姿勢で臨む
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に授業範囲の該当箇所を読み、不明確なことを調べておく ・授業後は理解が難しかった点や、さらに探究してみたいことを調べておく <p>上記について、各回1~2時間程度の自己学習を行う</p>
教科書・参考書	<p>教科書：小西恵美子編集：看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ。南江堂。</p>
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・各講義での課題60%(田口10%、川副10%、寺門40%) ・最終レポート40% <p>上記を合わせて評価する 詳細は別途アナウンスする</p>
課題等に対するフィードバック	<p>ディスカッション等を通し、随時、フィードバックしていく</p>
オフィスアワー	<p>CampusSquare を参照</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習はじめ、これまでのあらゆる体験を丁寧に振り返る機会とし、倫理観とともに、看護観の構築につなげて欲しいと思います ・答えがすぐにはみつからない、あるいは答えがひとつではない事象に対し、向き合い続けられる自己を育んでもらえるような講義にしたいと思います
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>本講義を非対面で行うこととなった場合は、zoom等を利用したリアルタイム講義を基本とする。評価は対面と同様とする</p>